

地域助産学演習

単位数：3単位

○橋本 美幸：臨床看護学講座准教授

1. 科目の教育方針

地域の女性の健康問題と課題を明確化し、その解決に向けた対策事業について考える力とマネジメント力を養う。

地域包括医療・ケアシステムの中で助産師の責務と役割を理解し、医療、保健、福祉などの専門職と連携・協働できる力を養う。

2. 教育目標

- 1) ライフサイクル各期(思春期・成熟期・更年期・老年期)の女性への健康支援の実際について理解を深め、家庭・職場・地域における女性の健康支援について考える。
- 2) 地域・離島における地域包括医療、周産期医療の実際について学び、助産師の活動・役割について考える。
- 3) 対象の生活を基盤に、全人的に継続的なケアと支援ができる実践力を向上することができる。
- 4) 地域の女性の健康問題・課題を明確化し、よりよい地域包括ケア及び支援にむけた対策事業を考えることができる。
- 5) 地域における多職種間の連携・協働の実際について学び、これが円滑に行われるためのシステムについて学ぶ。

3. 教育の方法、進め方、評価等

1) 演習施設及び期間

- (1) 島根大学医学部附属病院：2022年5月 1週間
産婦人科外来、産後ケア外来、プレコンセプション外来、女性ヘルスケア外来等
- (2) 隠岐連合立隠岐病院：2022年6～8月頃 1週間
産婦人科外来（巡回診療）、病棟、地域連携部、島の人材育成センター
- (3) 隠岐連合立隠岐島前病院：2022年6～8月頃 1週間
外来、病棟、巡回診療

2) 演習の進め方

- (1) これまでの講義、実習等で学修した地域・離島の周産期医療、女性の健康、母子保健等に関連する問題・課題から、対象・関心テーマを整理し、演習対象と関心テーマを考える。

- (1) ライフサイクル各期(思春期・成熟期・更年期・老年期)の女性への健康課題について事前学習し、演習対象と関心テーマを決めて、演習目標を決める。
- (2) 対象地域の地域診断を行う。また、妊産婦、女性、母子のためのケアにおける既存の事業や政策上の課題について考察する。
- (3) 演習目標達成のための演習方法(場所、対象、内容、評価表)演習スケジュールを計画する。

3) 評価

- (1) 考えた演習目標の評価表をあわせて作成し、これで評価を行う。
- (2) 演習計画書、報告書、発表を総合的に評価する。

5. 教育内容

回	内 容	講師
1～3	演習オリエンテーション 演習計画立案	橋本
6～43	演習	橋本 各施設医師、 看護師・助産師
44～45	成果発表	橋本